



▲雨の中図鑑とにらめっこ (10月)



▲午後には雨もやみ青空も (10月)

# 10月

10月6日(日)10:00~15:30

曇のち雨のち晴 / 22℃ / 風の強さ: 顔に風をかんじる / 北

●水海道あすなるの里遊びの森~菅生沼ふれあい橋

【調査員】竹内 榎、坂田 雪桜

【リーダー】坂入 真史

観察した種(出現順): 24種+外来種1種

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ヒヨドリ    | ダイサギ    | マガモ     |
| ハシボソガラス | ハシボソガラス | ホオジロ    |
| モズ      | クサシギ    | イカルチドリ  |
| キジバト    | ハクセキレイ  | チュウサギ   |
| ガビチョウ   | カワラヒワ   | スズメ     |
| カルガモ    | カワセミ    | セグロセキレイ |
| アオサギ    | シジュウカラ  | トビ      |
| カウウ     | ヒクイナ    |         |
| カイツブリ   | カケス     |         |



ダイサギ

モズ



イカルチドリ

カワセミ

マガモ



セグロセキレイ



クサシギ



カワセミ



マガモ



セグロセキレイ



チュウサギ



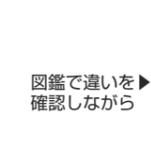
カワセミ



マガモ



セグロセキレイ



図鑑で違いを確認しながら



見たい鳥をノートにスケッチ



▲双眼鏡をあわせる癖がついてきた



クサシギとイカルチドリのシギ、チドリ類2種が観察できました。かわいかったです。 埼玉県草加市 / 竹内 榎さん

## リーダーのメモ

開始直後から雨が降り出しましたが、探検隊はねばり強く観察を続けました。今回はシギ・チドリ類などふだんあまり観察しない野鳥も時間をかけて観察しました(坂入)

# 11月

11月はお休みしました。

## 鳥の先生から

10月の雨降りの観察会は、出現した種のうち半分くらいがサギ類やカモ類、チドリ類など水辺の鳥ですね。雨降りでもいつもと変わらない水辺の鳥の様子が観察できたのではないのでしょうか。観察したみなさんには、雨の中大変でした。季節の変化が大きい11月の観察会がお休みで、夏鳥の居残り組や早い到着をした冬鳥の、入れ替わりの様子が記録できなかったのはちょっと残念でした。12月の観察会では、モズのはやにえがたくさん見つかり、鳥の暮らしが想像できる記録が取れたのは、すばらしいです。 日本野鳥の会茨城県 副会長 / 内田 初江

# 12月

12月21日(日)9:45~15:30

晴 / 9℃ / 風の強さ: 顔に風をかんじる / 風向き: 北

●水海道あすなるの里遊びの森~ふれあい橋~菅生沼ふれあい広場

【調査員】竹内 榎、坂田 雪桜

【リーダー】坂入 真史

観察した種(出現順、括弧内は羽数): 35種+外来種1種

- |         |         |             |
|---------|---------|-------------|
| シジュウカラ  | アオジ     | カイツブリ       |
| カワウ     | トラツグミ   | トビ          |
| ウグイス    | ジョウビタキ  | ツグミ         |
| コゲラ     | カケス     | コガモ(30)     |
| モズ      | ホオジロ    | オオハクチョウ(11) |
| カルガモ    | クイナ     | コハクチョウ(131) |
| ヒヨドリ    | オオジュリン  | オオバン(20)    |
| セグロセキレイ | ベニマシコ   | アオサギ        |
| ハクセキレイ  | ハシボソガラス | タンギ(10)     |
| キジバト    | スズメ     | ハシボソガラス     |
| カワラヒワ   | オオタカ    | カワセミ        |
| メジロ     | バン      |             |



コゲラ



カルガモ



カワセミ



マガモ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



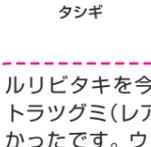
セグロセキレイ



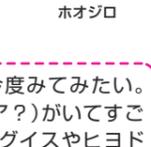
セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



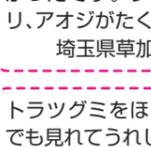
セグロセキレイ



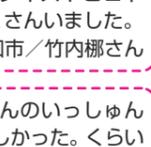
セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



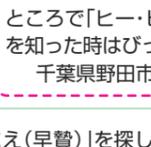
セグロセキレイ



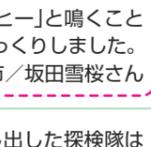
セグロセキレイ



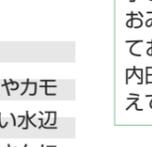
セグロセキレイ



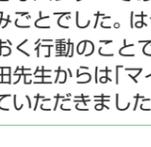
セグロセキレイ



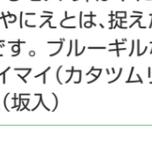
セグロセキレイ



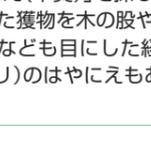
セグロセキレイ



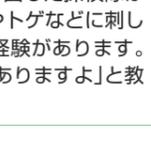
セグロセキレイ



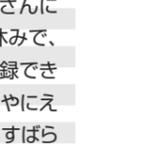
セグロセキレイ



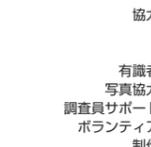
セグロセキレイ



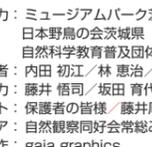
セグロセキレイ



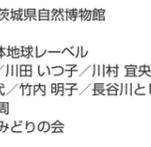
セグロセキレイ



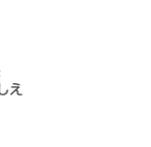
セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



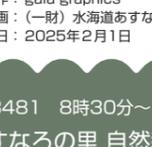
セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



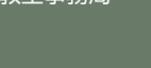
セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ



セグロセキレイ





▲花に集まる虫を待つ (10月)



▲虫が集まる場所には人も集まる(11月)

# 虫

## 10月

●あすなろの里遊びの森  
 10月19日(土)9:30~12:00 曇/弱風/24℃  
 【B班調査員】沢田明衣、上山裕平  
 10月20日(日)9:30~12:00 晴/弱風/17℃  
 【A班調査員】杉岡和樹、藤井啓、川島智至、宮崎健介、小玉凌我  
 【リーダーいずれも】常総みどりの会(上山耕平)

観察した種  
**チョウ目**  
 アオシヤゲハB  
 メスグロヒョウモン♀BA  
 クロノマチョウ秋型B  
 キタテハ秋型BA  
 ヒカゲチョウB  
 ウラギンシジミ♀BA  
 ヤマトシジミBA  
 ベニシジミB  
 モンシロチョウB  
 モンキチョウB  
 キタキチョウB  
 ヒメウラナミジャノメBA  
 オオチャバネセセリB  
 ナガサキアゲハB  
 ルリタテハB  
 ツマグロヒョウモン♂BA  
 ジャコウアゲハB  
 シロオビノメイガA  
**ゴキブリ目**  
 モリチャバネゴキブリA  
**カマキリ目**  
 オオカマキリBA  
 ハラビロカマキリB  
 コカマキリB



ホーベリアに寄生されたコカマキリ



シロオビノメイガ、オオカマキリ、ショウリョウバッタモドキ、キタテハ、ウラギンシジミ、ホソミオツネトンボ、オオアオイトトンボ

## 11月

●あすなろの里遊びの森  
 11月4日(月)9:30~12:00 晴/弱風/15℃  
 【A班調査員】杉岡和樹、藤井啓、川島智至、宮崎健介、小玉凌我  
 11月16日(土)9:30~12:00 曇/弱風/15℃  
 【B班調査員】沢田明衣、上山裕平、畑山起槻、畑山純侖、高見功輝  
 【リーダーいずれも】常総みどりの会(上山耕平)

観察した種  
**チョウ目**  
 ヤマトシジミAB  
 キタテハ秋型AB  
 ツマグロヒョウモン♀A  
 ムラサキシジミA  
 キタキチョウAB  
 シロオビノメイガA  
 ヒメクロホウジャクA  
 ナミテンアツバAB  
 ヤマトシジミA  
 アカボシゴマダラ幼虫AB  
 チャバネセセリAB  
 モンシロチョウAB  
 ベニシジミAB  
 イチモンジセセリB  
 クロノマチョウ秋型B  
 モンシロチョウB  
**ゴキブリ目**  
 モリチャバネゴキブリA  
**カマキリ目**  
 コカマキリAB(稀色2・緑色1)  
 オオカマキリAB  
 ハラビロカマキリAB

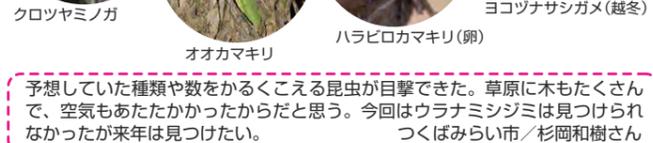


キタキチョウ、アカボシゴマダラ幼虫

## 12月

●ふれあい橋~菅生沼ふれあい広場  
 12月8日(日)9:30~12:00 晴/無風/10℃  
 【A班調査員】杉岡和樹、藤井啓、川島智至、宮崎健介  
 12月14日(土)9:30~12:00 晴/強風/7℃  
 【B班調査員】沢田明衣、上山裕平、関健太郎、畑山起槻、畑山純侖、高見功輝  
 【リーダーいずれも】常総みどりの会(上山耕平)

観察した種  
**チョウ目**  
 モンシロチョウ幼虫A  
 ナシケンモン幼虫A  
 ヤマトシジミA  
 ヤマトシジミA  
 ヲオアオイトトンボB  
 ノシメトンボB  
 カトリヤンマA  
**コウチュウ目**  
 クロウリハムシB  
 ノコギリクワガタA  
**カマキリ目**  
 オオカマキリA  
 ハラビロカマキリB  
**バッタ目**  
 コバネイナゴB  
**ハサミムシ目**  
 ハサミムシA



クロツヤミノガ、オオカマキリ、ハラビロカマキリ(卵)、ヨコツナサシガメ(越冬)

予想していた種類や数をはるかに超える昆虫が目撃できた。草原に木もたくさんで、空気もあたたかかったからだと思う。今回はウラナミシジミは見つけられなかったが来年は見つけたい。 つくばみらい市/杉岡和樹さん

## 11月

●あすなろの里遊びの森  
 11月4日(月)9:30~12:00 晴/弱風/15℃  
 【A班調査員】杉岡和樹、藤井啓、川島智至、宮崎健介、小玉凌我  
 11月16日(土)9:30~12:00 曇/弱風/15℃  
 【B班調査員】沢田明衣、上山裕平、畑山起槻、畑山純侖、高見功輝  
 【リーダーいずれも】常総みどりの会(上山耕平)



▲朽木の下のには何が？ ▲飛んでくる虫をねらって待機 ▲樹皮の上もよく探す ▲草むらは探検しなくなる

昆虫の先生から  
 2024年は、とても気温の高い年となりました。その影響でしょうか？ 感想にもあるように、晩秋から初冬にかけて昆虫たちの姿も少なくなる時期でしたが、比較的多くの種を記録することができました。記録された種の中でショウリョウバッタモドキは、茨城県のレッドデータブックでは絶滅危惧に指定されています。菅生沼周辺では、比較的にみられるのかもしれませんが、チュウゴクアミガサハゴロモは、2024年になって県内での報告が相次ぎました。両種とも注視していきたいですね。  
 ミュージアムパーク茨城県自然博物館/久松 正樹



▲前回より種類が多い (10月)



▲大人も子どももみんなで集中(10月)

## 10月

●水海道あすなろの里遊びの森  
 10月6日(日)9:30~12:00 曇/無風/20℃  
 【調査員】福田藍斗、川畑海翔  
 【リーダー】常総みどりの会(藤井悟司、長谷川としえ)  
 【同定】川田いつ子

観察した種(★印は希少種、○印は探検隊が撮影した植物)  
 アキノタムラソウ(花)(実)  
 アサザ(稀種)(花)  
 アメリカセンダングサ(花)  
 アリタソウ(花)  
 アレチヌスビトハギ(花)(実)  
 イヌオオズキ(花)(実)  
 イヌガラシ(花)  
 イノコヅチ(花)  
 イボクサ(花)  
 ウシハコベ(花)  
 ウド(実)  
 ウリクサ(花)  
 オオシマザクラ(稀種)(花)  
 オオバコ(実)  
 オトコエシ(花)  
 オモダカ(花)(実)  
 カタバミ(花)(実)  
 カラスウリ(花)(実)  
 カントウヨメナ(花)  
 キクモ(花)  
 キツネノマゴ(花)  
 コセンダングサ(花)  
 コナギ(花)(実)  
 コニシキソウ(花)(実)  
 ザクロソウ(花)(実)  
 シラヤマギク(花)  
 シロツメクサ(花)  
 スズメウリ(花)  
 セイタカアワダチソウ(花)  
 センニンソウ(種)  
 ソメイヨシノ(稀種)(花)  
 タカサブロウ(花)

先月にくらべてとてもすずしいから植物が少ないと思ったら種数は前回より増えています。 常総市/川畑海翔さん

## 11月

11月17日(日)9:30~12:00 曇/弱風/18℃  
 ●水海道あすなろの里遊びの森  
 【調査員】福田藍斗  
 【リーダー】常総みどりの会(藤井悟司、長谷川としえ)  
 【同定】川田いつ子

観察した種(○印は探検隊が撮影した植物)  
 アキノタムラソウ(花)  
 アキノノゲシ(種)  
 アメリカキンゴジカ(実)  
 アレチヌスビトハギ(実)  
 イヌガラシ(花)  
 イヌタデ(花)  
 イヌホオズキ(花)(実)  
 イノコヅチ(種)  
 イボタノキ(実)  
 ウシハコベ(花)  
 ウド(実)  
 オオバコ(実)  
 オオフサモ(葉)  
 オニタビラコ(花)  
 カタバミ(花)  
 ガマズミ(種)  
 ガマズミ(実)  
 カラスウリ(実)  
 カントウヨメナ(花)  
 キツネノマゴ(花)  
 クヌギ(実)  
 クリ(実)  
 コシロネ(花)

日向と日陰で植生が違ってました。日向には春の植物や芽生えが目立ってました。紅葉が目立ってました。紅葉が始まり、実や種がたくさん見つかった。キノコも目立ってました(講師/川田いつ子)

# 植物



▲植物が少ない時期、でも発見が！ (11月)



▲フユノハナワラビを探そう！ (12月)

## 12月

12月21日(日)9:30~12:00 晴/無風/9℃  
 ●水海道あすなろの里遊びの森  
 【調査員】福田藍斗  
 【リーダー】常総みどりの会(藤井悟司、長谷川としえ)  
 【同定】川田いつ子

観察した種(★印は希少種、○印は探検隊が撮影した植物)  
 アレチヌスビトハギ(実)  
 アメリカセンダングサ(実)  
 イヌホオズキ(花)(実)  
 オオハナワラビ(胞子)  
 オニドコロ(実)  
 ガラスウリ(実)  
 ガマズミ(実)  
 キッコウハグマ(種)  
 キラン(種)★  
 クコ(実)  
 ゴンズイ(実)  
 ジャノヒゲ(実)  
 センリョウ(実)  
 センボンヤリ(種)  
 センニンソウ(種)  
 セイタカアワダチソウ(花)  
 タンキリマメ(種)  
 トウバナ(花)  
 ヌスビトハギ(実)  
 ノササゲ(種)  
 ノダケ(実)  
 ノミノフスマ(花)  
 ハルジオン(種)  
 ヒメジソ(実)  
 ヒヨドリバナ(種)  
 フユノハナワラビ(胞子)

ヒッチハイカー(洋種につく種)がたくさんついて大変だった。木の種類によって皮のはがれ方がちがっておもしろかった。イヌホオズキの種の数を数えるのが楽しかった。キッコウハグマの花を来年は見たい。 つくばみらい市/福田藍斗さん

リーダーのメモ  
 フユノハナワラビ、オオフユノハナワラビの生育地が確定した。数もたくさん確認できた。季節から種や実が多かったが、センボンヤリやキッコウハグマの種を初めて見た(講師/川田いつ子)



センニンソウ、チャノキとキタテハ、ムラサキシキブ、ヤクシソウ

▲足元をよく見て花を探そう

植物の先生から  
 前の年の同じ時期の調査に比べて記録できた植物の数が大きく増えていてすばらしいと思います。調査の回を重ねることで観察眼が鋭くなっていることがうかがえます。秋は花と実が両方見られるので、注意深く観察すると数多くの植物を確認することができます。冬を迎える12月になると色鮮やかな花や実が少なくなりますが、ノササゲの果実の色やタンキリマメの果皮と種子のコントラストなどは、じっくり見ると大変きれいですね。  
 ミュージアムパーク茨城県自然博物館/飯田 勝明